

# 漢方の不思議



《82》

炭本隆宏（大分大  
病院薬剤部薬剤主  
任、由布市）

今回は「漢方の服用方法」について説明します。一般に、漢方薬と聞くと「においが独特」や「苦い」といったイメージを持つ人は多いのではないのでしょうか。そのような人にお勧め服用時の工夫をいくつか紹介します。

味やにおいが気になる人にお勧めなのが、漢方薬をオブラートに包む方法やココアなど味がしっかりしている飲み物に混ぜて服用する方法です。オブラートに包む場合は、無理なく包める量にして、あらかじめコップにいれた少量の水でオブラートをゼリー状にしたうえで服用してください。

飲み物に混ぜる場合は、牛乳やお茶は漢方薬の効果に影響を与えることがあるので避けてください。市販されている服薬補助用のゼリーを試すのもいいかと思

います。

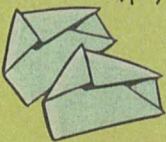
味やにおいに敏感な乳幼児や子どもに服用させたい場合は、1歳以上であれば保護者の指先に乗せたハチミツに顆粒を付けてなめさせる方法があります。1歳未満の場合はハチミツを与えてはいけませんので、授乳時に指先を少しぬらしてから顆粒を乗せて、乳児の

頬の内側に付けてから授乳させる方法があります。ただし、ミルクなど主食となる食品に混ぜると、ミルク嫌いや食事を嫌がるようになることがあるため、注意が必要です。

服薬ゼリー



オブラート



顆粒タイプを服用する際、口の中に残るのが気になる人にお勧めするのが、ぬるめのお湯に溶かして服用する方法です。この方法は、当帰芍薬散や当帰四逆加呉茱萸生姜湯など体を温める目的の漢方薬の他、かぜやインフルエンザの初期に処方される葛根湯や麻黄湯といった名前の最後に「湯」が付く漢方薬を服用する際に、お勧めの方法です。ただし、吐き気などがある場合は、悪化することがあるので水で服用してください。

体に合う漢方薬は苦くても飲みやすいといわれています。においや苦さが気になつてどうしても飲めないときは、医師や薬剤師に相談してみてください。

## 牛乳やお茶には混ぜないで

（企画・監修 西田欣広  
・日本東洋医学会大分県部  
会会長）